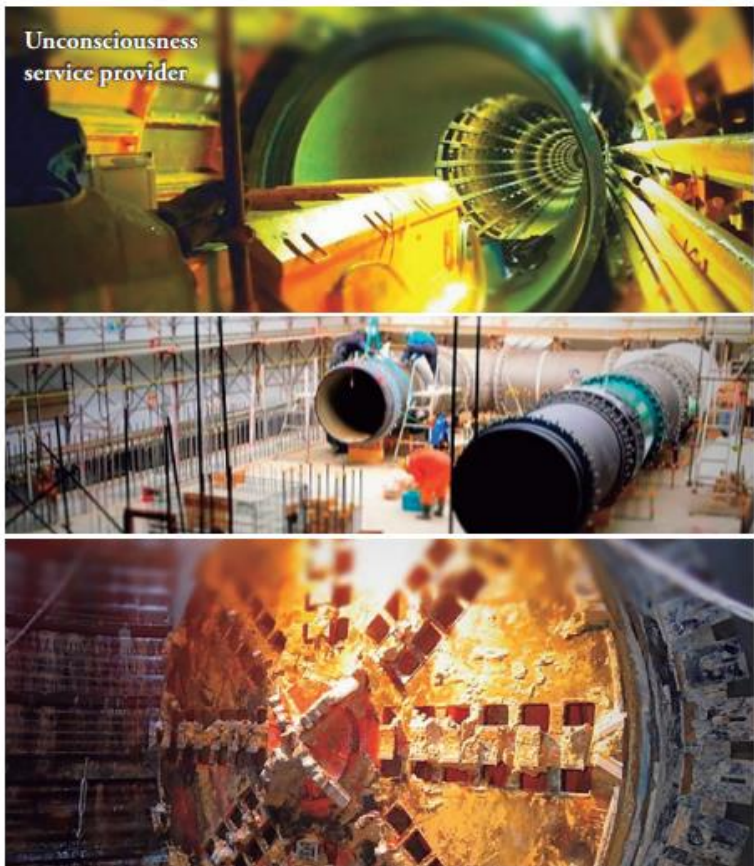


株式会社 大庭組

自立から他立へ、そして、自他同立社会の実現に向けて
未来の社会を創造する



社会基盤の潜在力 無意識のサービスを提供

当社は、札幌市において1950（昭和25）年の創立以来、一貫して社会基盤のデザイン・整備を担ってきた地場を代表する都市土木のエンジニア集団です。これまで、時代に即応しながら多種多様な新技術や工法、機材を導入し、都市における難問や諸課題に対して果敢にチャレンジし、躍進を遂げてきました。また、札幌という北国特有の気候、風土、地理的条件を踏まえ、地域に根ざした地場企業だからこそ分かる地域の習慣や人々とのつながりを大切にしてきました。こうした努力を重ねながら大都市創造の一翼を担い、そこから産み出される市民サービスを創出し続けています。しかしながら今後、都市における社会基盤は、存在することが自明の世界になりつつあります。やがて私たちの心から消え、無意識化されていくのかもしれない。そのためにも、社会基盤が提供する潜在的な力、「無意識のサービス」を見極めながら、みなさんと一緒に未来の社会を創造していきたいと考えています。

トップ
メッセージ

経営理念「自他同立」の考え方を大切に

代表取締役社長
大庭 将宣

当社の経営理念「自他同立」は、創立以来、社会の基盤整備事業を担っていく企業として「公共」の概念を大切に、社員一人一人が遵守すべき次の三つの基本的な考え方、行動指針となっています。

- 一、誠実に徹する
- 一、礼節を重んじる
- 一、人格の向上に努める

まず「誠実に徹する」とは、自己に対し誠実に向き合うことに徹するということです。それ

は、主体的に自己を確立すること。つまり「自立」した「個」を確立することです。

次に、自立した自己は、自己満足に留まることなく誰かのために生きよう、社会の役に立つという「他立」の動きへ展開することを目指します。

そのためには、自己の殻を破り、他者さらには広義の社会と「つながる」必要があり、社会的規範や法、歴史的伝統等を踏まえた「礼節を重んじる」こと

が求められます。そして、他立（他者が他者として自立している状態）が確立した段階で「顧客（＝自立した他者）創造」が実現します。この自己と他者が同時に自立している状態が「自他同立」であり、この次元を実現しようとする行為がまさしく「人格の向上に努める」姿です。こうした一連の思考・行動を通じて、新たな自己を生成化育し、持続的に循環させることのできる人材を希求しています。

モノづくりの世界から 跳躍し、こんなコトも



事業企画部から一言

ICT化への取り組み

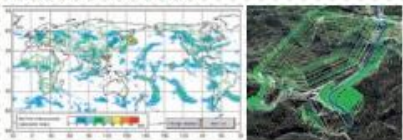
1981年、オフィスコンピューターの導入以降、情報化投資を積極的に行い、そこで培ったノウハウを活かし、99年にはICT企業（株）オーベックを設立するまでに至っています。建設CALS/ECのコンセプトを継承しながら進められている現在のi-Construction、CIM、3Dモデル、VR・AR等によるシミュレーションをはじめ、ビッグデータの解析やAIへの取り組みも始動しています。

地域密着企業だからこそ

地域貢献活動として、春から秋にかけては道路アダプト制度に基づく環境美化活動、冬には、高齢者のための福祉除雪などを行っています。

また、札幌市中央区災害防止協力会の一員として積極的に地域の防災活動に参画。ポウサイズネットの企画・運営にも携わり、地域防災力向上に向けた啓蒙・啓発活動を推進しています。

<http://www.bousais.net/>



株式会社 大庭組

〒064-0807

北海道札幌市中央区南7条西15丁目2番21号

TEL ☎011-561-2971 FAX ☎011-561-2960

- 創業 / 1950（昭和25）年4月
- 設立 / 1961（昭和36）年1月
- 代表者 / 代表取締役社長 大庭 将宣
- 資本金 / 2,000万円
- HP : <http://www.ohbagumi.co.jp/>
- 事業内容 / 上下水道、道路、河川、橋梁工事など社会インフラ整備の設計・施工、地域貢献に資する除排雪、社会アセットの維持・管理、CM（コンストラクションマネジメント）、ソフトウェア研究・設計・開発・販売

